

Hamee (TYO: 3134)

2024年4月期第3四半期（2023年11-2024年1月期）決算は前年同期比増収増益に。

サマリー

会社概要

◇**Hamee株式会社**（以下、同社）は1997年に創業、2015年に東証マザーズにて株式公開、現在はスタンダード市場に上場。「コマース事業」と「プラットフォーム事業」を分社化して運営、共に利益体質である。2023年4月期業績は連結売上高140億円、営業利益13億円、総資産123億円、純資産90億円、従業員数428名。2023年6月発表の中期経営計画では2026年4月期売上高225億円、営業利益33億円を目指す。

◇**「コマース事業」**：事業規模は2023年4月期通期売上高107億円、セグメント利益7億円。モバイルアクセサリーの商品企画・開発・製造およびEC販売と量販店等への卸売で自社企画商品のiFaceシリーズが若年層を中心に認知されているモバイルライフ事業に加えて、ゲーミングアクセサリー事業、コスメティクス事業（「ByUR」ブランド）、グローバル事業へと事業の多層化を推進しており、その成果が収益面に顕在化し始めている。

◇**「プラットフォーム事業」**：インターネット通販事業者向けに、ネットショップ運営にかかわる業務の自動化、モール横断型で複数店舗の受注処理や在庫状況を一元管理できるクラウド（SaaS）型EC Attractions「ネクストエンジン」を開発し、中規模事業者を中心に6,000社以上に提供している。事業規模は2023年4月期通期売上高34億円、セグメント利益15億円で、着実な増収増益基調にあり、今後もEC市場の拡大の恩恵が期待される。

◇**組織再編**：2025年をめどにプラットフォーム事業を担うNE株式会社の株式分配型スピノフを行い、さらにNE社を株式上場させる予定である。現在の同社株主は、将来同社とNE社の上場2社の株主になる。2事業のポテンシャルを適切かつタイムリーに足元の株価に反映させる狙いである。

2024年4月期第3四半期アップデートと注目点

◇**増収増益**：売上高51.5億円（前年同期比+32%増）、営業利益7.3億円（同+23%増）、純利益4.9億円（同+56%増）の好決算だった。コマース事業は増収微減益。モバイルライフ事業の利益が伸び悩んだものの、コスメティクス事業の増収と赤字縮小、グローバル事業の増益などにより収益基盤の拡充が進んでいる。プラットフォーム事業は増収増益。受注処理件数が伸び悩むものの、導入店舗数が増え解約率も低位にあるうえ、料金改定効果とメルカリとの提携効果からARPUが上昇している。

◇**2024年4月期会社予想の修正**：第2四半期時点で従来の通期会社予想に対する利益の進捗率が低めであったが、今回通期会社予想が修正されている。売上高予想は、モバイルライフ事業の計画未達をコスメティクス事業とネクストエンジン事業でカバーし上方修正。一方、営業利益は、ネクストエンジン事業の利益が上振れるもののモバイルライフ事業の未達とコスメティクス事業の拡販費用が響き下方修正となった。ただし修正後の通期営業利益は18.7億円（同+47%）で好調である。

◇**今後の注目点**：コマース・プラットフォーム事業が各々自律的かつレジリエントに内部成長する姿を確認するにつれて、株価の評価はそれぞれの事業ポテンシャルを割り引くことなく織り込んでいくと想定される。決算発表後の株価上昇もこの動きの兆候とみなせそうだ。今後は（1）コマース事業におけるコスメティクス事業の黒字転換の時期、およびグローバル事業の利益寄与の拡大、（2）ネクストエンジン事業のGMV、受注処理件数の成長回帰の時期が特に注目される。

3Q決算アップデート

小売・ITサービス

2024年4月9日

株価(4/8)

1,175円

52週高値/安値	1,355/987 円
1日出来高(3ヶ月)	107 千株
時価総額	191 億円
企業価値	184 億円
PER(24/4会社予想)	18.2 倍
PBR(23/4実)	2.1 倍
予想配当利回り(24/4)	1.9 %
ROE(23/4期)	11.1 %
営業利益率(23/4期)	9.1 %
ベータ(5年間)	1.7
発行済株式数	15.9 百万株
上場市場	東証スタンダード

株価パフォーマンス



	1月	3月	12月
% 株価	13	31	33
相対株価	9	10	-6

注目点

プラットフォーム事業のKPIの進捗（契約社数、APRU、解約率など）、コマース事業におけるコスメティクス事業の利益寄与開始と事業全体の安定成長化の目処、2025年に想定される子会社のスピノフと上場を視野に入れて特にプラットフォーム事業のポテンシャルに期待が高まるような株価形成になるのか。

当レポート(Company note)は、Hameeの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレマを参照ください。

目次

サマリー	1
主要財務データ	2
2024年4月期第3四半期決算	3
株価動向	10
今後の注目点	12
業績推移	12
参考情報	14

主要財務データ

決算年月		2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月
売上高	百万円	8,502	9,377	10,303	11,325	12,364	13,413	14,038
経常利益	百万円	1,048	1,267	1,179	1,757	2,149	2,330	1,400
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	696	873	821	1,069	1,556	1,744	945
発行済み株式数	百万株	15.8	16.1	16.1	16.1	16.3	16.3	16.3
純資産額	百万円	2,756	3,597	4,189	4,824	6,528	8,253	8,961
総資産額	百万円	4,240	5,042	5,761	8,097	8,339	10,518	12,320
1株当たり純資産額	円	170	216	254	297	405	513	557
1株当たり当期純利益	円	44	55	51	67	98	110	59
自己資本比率	%	64	69	70	58	77	78	72
自己資本利益率	%	30	28	22	25	28	24	11
営業キャッシュフロー	百万円	576	1,246	651	1,934	1,941	1,186	695
投資キャッシュフロー	百万円	-433	-674	-671	-1,020	-412	-886	-1,507
財務キャッシュフロー	百万円	69	-230	-7	933	-1,736	298	263
現金及び現金同等物の期末残高	百万円	1,324	1,695	1,660	3,453	3,355	4,026	3,536
従業員数	名	233	285	309	353	387	403	428

出所：同社資料よりOmega Investment 作成、小数点以下四捨五入



2024年4月期第3四半期決算動向

Hamee株式会社（以下、同社）は、2024年3月15日引け後、2024年4月期第3四半期（2023年11月-2024年1月期）の決算を発表した。

増収増益続く

第3四半期は第2四半期の復調が持続し、売上高51.5億円（前年同期比+32%増）、営業利益7.3億円（同+23%増）、純利益4.9億円（同+56%増）の好決算だった。

各事業の詳細は後述するが、概要を述べれば、コマース事業は増収微減益。モバイルライフ事業の利益が伸び悩んだものの、コスメティクス事業の増収と赤字縮小、グローバル事業の増益などにより益基盤の拡充が進んでいる。プラットフォーム事業は増収増益。受注処理件数が伸び悩むものの、導入店舗数が増え解約率も低位にあるうえ、料金改定効果とメルカリとの提携効果からARPUが上昇している。

24年4月期3Q 連結概況

- モバイルライフ事業の健闘、コスメティクス事業の大躍進およびネクストエンジン事業の増収等によって売上高は前年と比べ会計期間で31.8%、累計期間で21.3%と大幅に伸長
- 1Qに発生した税金費用の影響により親会社株主に帰属する四半期純利益は3Q累計期間で前年比マイナスとなるも、会計期間においては前年比55.9%の増益

(百万円)	会計期間				累計期間			
	2023/04 3Q実績	2024/04 3Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q~3Q実績	2024/04 1Q~3Q実績	増減額	前年比
売上高	3,908	5,151	1,242	31.8%	10,542	12,782	2,240	21.3%
売上総利益	2,498	3,293	794	31.8%	6,496	8,014	1,518	23.4%
営業利益	595	728	133	22.4%	1,169	1,362	192	16.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	315	491	176	55.9%	814	693	△ 121	△ 14.9%

出所：同社資料より Omega Investment 作成



2024年4月期第3四半期決算動向

通期業績予想は利益面で下方修正

従来の通期業績予想に対して第2四半期までの利益面での進捗が低かったが、今回、業績予想が修正された。

まず、売上高は従来予想168億円から173億円へ上方修正された。

部門別には、コマース事業においてモバイルライフ事業を下方修正するものの、コスメティクス事業の大幅な伸びがこれを打ち返す。プラットフォーム事業においては、ネクストエンジン事業の売上高を上方修正する一方、ロカルコ事業およびコンサルティング事業を下方修正し、事業全体では若干の下方修正となった。

一方、利益は下方修正となり、営業利益は21億円から19億円へ、親会社株主に帰属する当期純利益は15億円から11億円へ見直されている。

営業利益については、ネクストエンジン事業の好調によりプラットフォーム事業の利益が3億円上振れるものの、コマース事業においてモバイルライフ事業の売上高が従来計画に対して未達になること、コスメティクス事業の増販に伴う費用が高み下方修正になっている。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益の下方修正に関しては、当期から海外連結子会社から当社へ配当を開始したことに付随して、海外連結子会社が所在国で課される海外源泉税などの税金費用の増加が影響している。これは本質的には同社の収益力の低下を意味しているとは考えられない。

なお、通期の一株配当は従来通り22.50円を予定している。

修正後も増収増益で着地へ

このように利益について下方修正がなされているが、必要以上にネガティブに見ることはないと考えられる。

第一に、修正後の通期業績は売上高が前年度比+23%増、営業利益同+47%増、親会社に帰属する当期純利益は同+11%増と好調だからである。

第二に、レジリエンスである。のちに見るように、コマース事業においてモバイルライフ事業が想定を下回っても他の部門である程度カバーできており、プラットフォーム事業においてもメインのネクストエンジン事業が当初計画を上回る利益を出す展開に持ち込めている。打ち手がうまく機能しており、評価すべきと考える。

24年4月期 通期業績予想修正

詳細につきましては2024年3月15日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

通期業績予想修正		2023/4	2024/4					
		①通期実績	②期初予想	前期増減額 (②-①)	③修正予想	予想増減額 (③-②)	前期増減額 (③-①)	修正率 (③+②×100)
コマース	売上高	10,655	13,032	2,377	13,552	520	2,897	104.0%
	セグメント利益	696	1,665	969	1,036	△629	340	62.2%
プラットフォーム	売上高	3,383	3,780	397	3,740	△40	357	98.9%
	セグメント利益	1,509	1,577	68	1,903	326	394	120.7%
連結	売上高	14,038	16,813	2,775	17,292	479	3,254	102.8%
	セグメント利益	2,205	3,243	1,038	2,939	△304	734	90.6%
	調整額※1	△934	△1,157	△223	△1,071	86	△137	92.6%
	営業利益	1,271	2,086	815	1,868	△218	597	89.5%
	経常利益	1,399	2,069	670	1,942	△127	543	93.9%
	親会社株主に帰属する当期純利益	945	1,537	592	1,053	△484	108	68.5%

※1 調整額：管理部門に関わる費用を「調整額」として記載しております。

出所：同社資料より Omega Investment 作成

2024年4月期第3四半期決算動向

連結

通期業績予想修正 一売上高増減分析

<コマース>

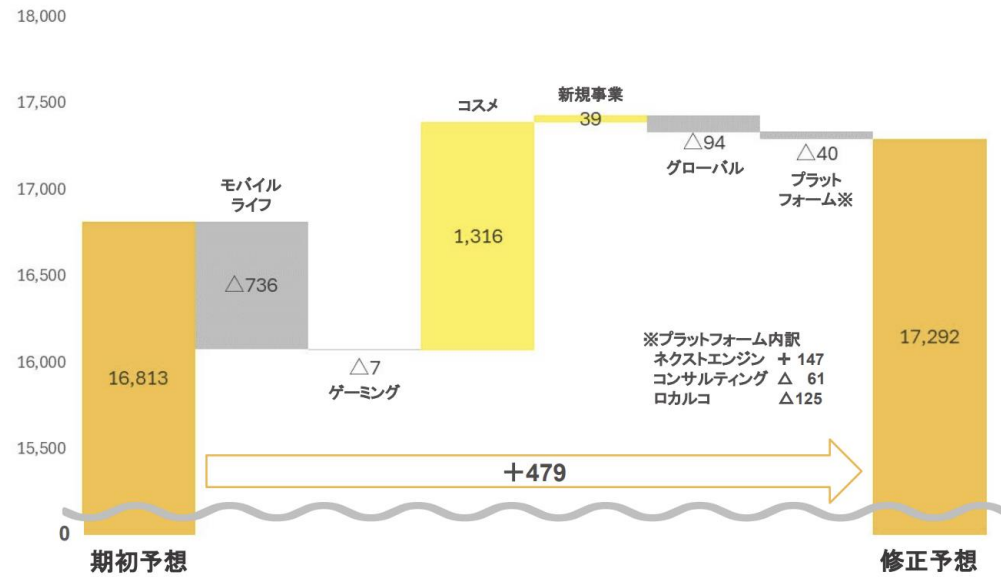
- モバイルライフ: 前年実績は上回るも個人消費の停滞により当初計画に届かず。
- コスメティクス: TV放映をきっかけに計画に対する達成率は242.3%と大躍進。事業ポートフォリオの大きな転換期に。

<プラットフォーム>

- ネクストエンジン事業が他事業の落ち込みをカバー。

売上高(通期)

(百万円)



連結

通期業績予想修正 一利益増減分析

<営業利益>

- モバイルライフの計画未達、販売拡大の好機と捉え広告宣伝投資等を継続したコスメティクス事業の影響でコマースセグメントが計画に対してビハインド。プラットフォームセグメントの上振れあるも218百万円の計画未達見込み。

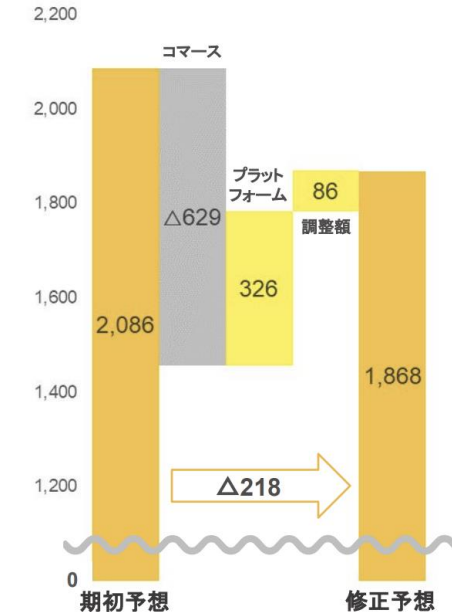
<当期純利益>

- 繰延税金負債※の影響額により484百万円の計画未達見込み。

※詳細は2023年9月14日公表の「繰延税金負債の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

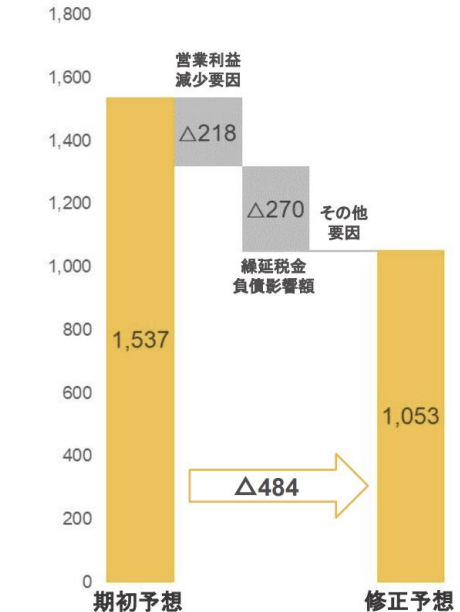
営業利益(通期)

(百万円)



当期純利益

(百万円)





2024年4月期第3四半期決算動向

コマース事業

増収微減益

第3四半期のコマース事業は売上高39億円（前年同期比+37%増）、セグメント利益2.7億円（同▲6%減）、利益率7.0%（同▲3.2ポイント）となった。

増収の牽引役はコスメティクス事業、グローバル事業、ついでゲーミングアクセサリ事業であり、モバイルライフ事業の伸び悩みを補った。コスメティクス事業は急速に認知が拡大し、売上高の急拡大が続いている（5.6億円；前年同期比8.8倍、前四半期比+35%増）。グローバル事業は2023年1月に譲受けたオタマトーンの海外販売が着実に伸びている。ゲーミングアクセサリ事業も商品ラインナップの拡充が奏功し成長軌道に回帰した。

売上高規模で最大を占めるモバイルライフ事業は増収になった。同社によればシェアは維持できているとのことである。会社計画ほどの伸びではなかった模様であるが、これは計画自体がやや積極的だったようである。

利益面では、モバイルライフ事業の商品ミックスの変化により利益をわずかに減らしている。一方、残りの部門では機能部署の費用が増えているものの、コスメティクス事業の赤字幅縮小とグローバル事業の利益拡大により全体として増益になっている。

総じて言えば、従来の主力部門であったモバイルライフ事業が伸び悩んだものの、他部門がおおむねこれを補っている構図である。グローバル事業が利益体質になり、コスメティクス事業の黒字化も近づいていると言え、コマース事業全体としてレジリエントな成長軌道にあると考えて良さそうだ。

連結

24年4月期3Q コマースセグメント概況(売上高)

- 新型iPhone向けおよび売れ筋の機種向けの継続的な新商品展開などにより **モバイルライフ事業は卸販売を中心に売上伸長と健闘を見せる**
- ECモールでの好調な販売実績を背景に卸販売先の導入店舗数が順調に拡大すると同時に **新商品のタイムリーな市場投入などにより コスメティクス事業は売上高が前年比9.9倍と好調を維持**

コマースセグメント	会計期間				累計期間			
	2023/04 3Q実績	2024/04 3Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q~3Q実績	2024/04 1Q~3Q実績	増減額	前年比
売上高	2,860	3,930	1,069	37.4%	7,902	9,921	2,019	25.6%
モバイルライフ事業	1,736	1,751	15	0.9%	5,318	5,525	206	3.9%
ゲーミングアクセサリ事業	230	342	111	48.4%	578	674	95	16.5%
コスメティクス事業	72	634	562	776.6%	143	1,419	1,276	888.1%
新規事業投資	25	98	73	291.6%	62	198	136	217.5%
グローバル事業	796	1,103	307	38.6%	1,798	2,102	304	16.9%

出所：同社資料より Omega Investment 作成



2024年4月期第3四半期決算動向

連結

24年4月期3Q コマースセグメント概況(営業利益)

- 米国での販売が好調なグローバル事業が、累計期間で41.7%の増益を達成
- 引き続き営業損失を計上しているものの売上高の大幅な伸びを背景にコスメティクス事業の採算改善が顕在化
- モバイルライフ事業は商品ミックスの変化などにより営業利益率は若干の低下

(百万円)	会計期間				累計期間			
	2023/04 3Q実績	2024/04 3Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q-3Q実績	2024/04 1Q-3Q実績	増減額	前年比
コマースセグメント								
営業利益	291	274	△16	△5.8%	668	667	△1	△0.2%
モバイルライフ事業	324	276	△47	△14.7%	1,049	1,056	7	0.7%
ゲーミングアクセサリ事業	0	3	3	—	9	△11	△21	—
コスメティクス事業	△136	△56	79	—	△385	△286	98	—
新規事業投資	△51	△58	△7	—	△162	△174	△12	—
機能部署	△17	△76	△58	—	△69	△238	△168	—
グローバル事業	171	185	14	8.2%	227	322	94	41.7%
営業利益率	10.2%	7.0%	△3.2%	—	8.5%	6.7%	△1.7%	—

出所：同社資料より Omega Investment 作成



2024年4月期第3四半期決算動向

プラットフォーム事業

増収増益

第3四半期のプラットフォーム事業は売上高12.2億円（前年同期比+17%増）、セグメント利益7.2億円（同+34%増）、利益率59.0%（同+7.5ポイント）となった。

第2四半期においてはネクストエンジン事業の足踏みをロカルコ事業がカバーしたが、当四半期においてはネクストエンジン事業の売上高が8.5億円（同+37%増）と大幅な増収となり、当事業の営業利益を牽引した。ネクストエンジン事業の顧客基盤の拡大、料金改定によるARPU引き上げ効果、およびメルカリとの協業効果が期待通りに実現したと言える。

ネクストエンジン事業のKPIを確認すると、総契約社数は堅調に増加し当四半期末6,150社（前四半期末比117社純増）、月次解約率は低位にとどまり0.92%、ARPUは46,534円（前年同期比+26%）へ増加している。

一方、受注処理件数は3,638万件（前年同期比▲12%減）となり減少傾向が続いている。

総じて言えば、主力のネクストエンジン事業の成長が加速したと言える。ただし料金改定効果などが一巡する約一年後までに、受注処理件数がプラス成長に回帰することが待たれる。

連結

24年4月期3Q プラットフォームセグメント概況

- サービス価格の改定に伴うARPUの向上と他社と営業連携に付随するインセンティブ売上などにより、**ネクストエンジン事業は大幅な増収・増益を達成**
- コンサルティング事業は新規契約に向けた営業活動を再開、採算管理が浸透し営業利益は期初計画を上回る**

(百万円)	会計期間				累計期間			
	2023/04 3Q実績	2024/04 3Q実績	増減額	前年比	2023/04 1Q~3Q実績	2024/04 1Q~3Q実績	増減額	前年比
プラットフォームセグメント								
売上高	1,045	1,220	174	16.7%	2,639	2,860	221	8.4%
ネクストエンジン事業	618	849	231	37.3%	1,797	2,072	275	15.3%
コンサルティング事業	103	112	8	8.2%	372	316	△ 56	△15.1%
ロカルコ事業	323	259	△ 64	△19.9%	469	471	1	0.3%
営業利益	538	719	181	33.7%	1,194	1,478	283	23.8%
営業利益率	51.5%	59.0%	7.5%	—	45.2%	51.7%	6.4%	—

出所：同社資料より Omega Investment 作成



2024年4月期第3四半期決算動向

ハイライト
(会計期間)

プラットフォーム

P F	売上高(3Q) 1,220 百万円 (前年比 16.7%増)	営業利益率(3Q) 59.0% (前年比 7.5%増)
	総契約社数(3Q) 6,150 社 (前年比 499社増)	GMV(3Q)※1 2,921 億円 (前年比 1.8%増)
ネクスト エンジ ン事 業	ARPU(3Q)※2 46,534 円 (前年比 26.2%増)	月次解約率(3Q)※3 0.92% (前年比 0.03%減)

※1 GMV…Gross Merchandise Valueの略でネクストエンジンを通じて行われる EC取引の総額として記載しております。

当第2四半期よりキャンセル処理分を GMVから除外した値となっております。

※2 ARPU…Average Revenue Per Userの略でネクストエンジン利用社 1社当たりの月次売上の平均として記載しております。

※3 月次解約率…四半期期間における解約数の平均から四半期末時点の総契約社数を除算した数値を記載しております。

出所：同社資料より Omega Investment 作成

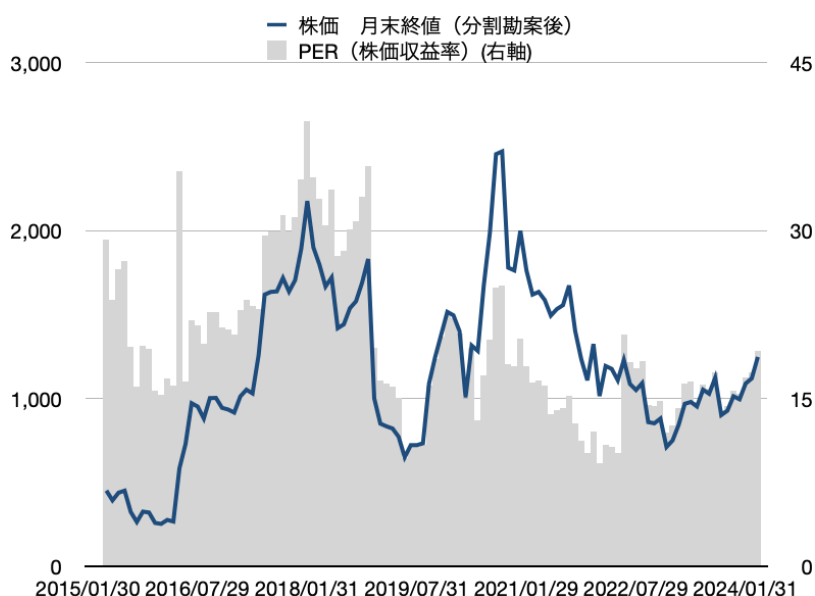
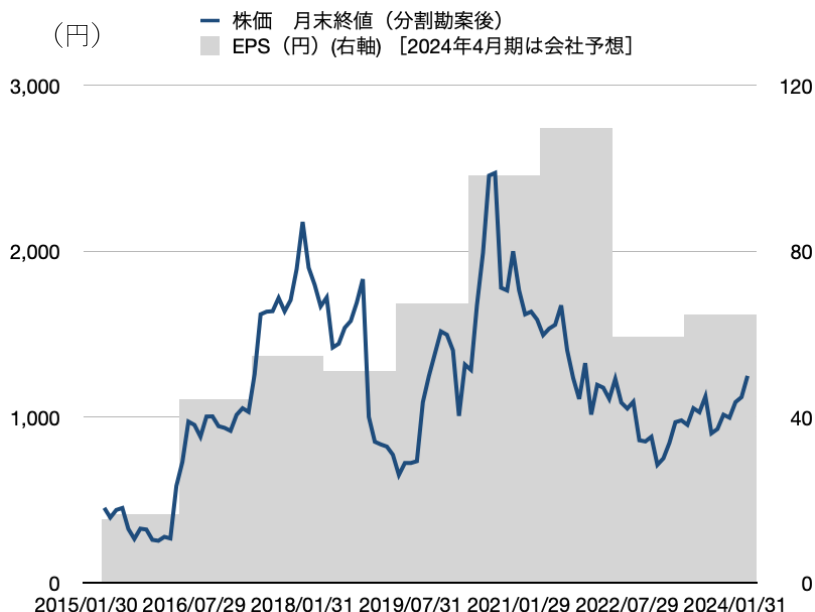
組織再編等

2023年7月14日にNE株式会社の株式分配型スピンオフ、およびNE株式会社のスピンオフ IPOが発表されているが、この計画に変更はない。



株価動向

Hameeの株価動向



同社株価の月末終値と年度別のEPS（2024年4月期は会社予想）の推移、および株価とPER（株価収益率）はこのグラフの通りである。

第2四半期決算発表後、株価は一旦下落したが、その後は一貫して上昇している。今回EPSも下方修正されたが、株価は上昇しており予想PERも拡大を続け20倍に接近している点は注目すべきである。

コマース事業がモバイルライフ事業に対する依存度を下げながらおおむね成長軌道にあること、プラットフォーム事業ではネクストエンジン事業の顧客基盤の拡充とARPUの引き上げを通じて成長を続けていることが、株式市場の評価を高めていると推察できるだろう。



今後の注目点

コマース・プラットフォーム事業が各々自律的かつレジリエントに内部成長する姿を確認するにつれて、株価の評価はそれぞれの事業ポテンシャルを割り引くことなく織り込んでいくと想定される。足元のしっかりした株価動向、特に予想PERの拡大はそうした動きの萌芽と解釈できるだろう。

今後、とくに注目すべき点は以下の通りである。

1. コマース事業におけるコスメティクス事業の黒字転換の時期、およびグローバル事業の利益寄与の拡大
2. ネクストエンジン事業のGMV、受注処理件数の成長回帰
3. 次回決算発表時点に開示がなされるであろう2025年4月期業績に関する会社予想の考え方（中期経営計画の目標に対してどのような想定になるのか）

業績推移

通期業績推移

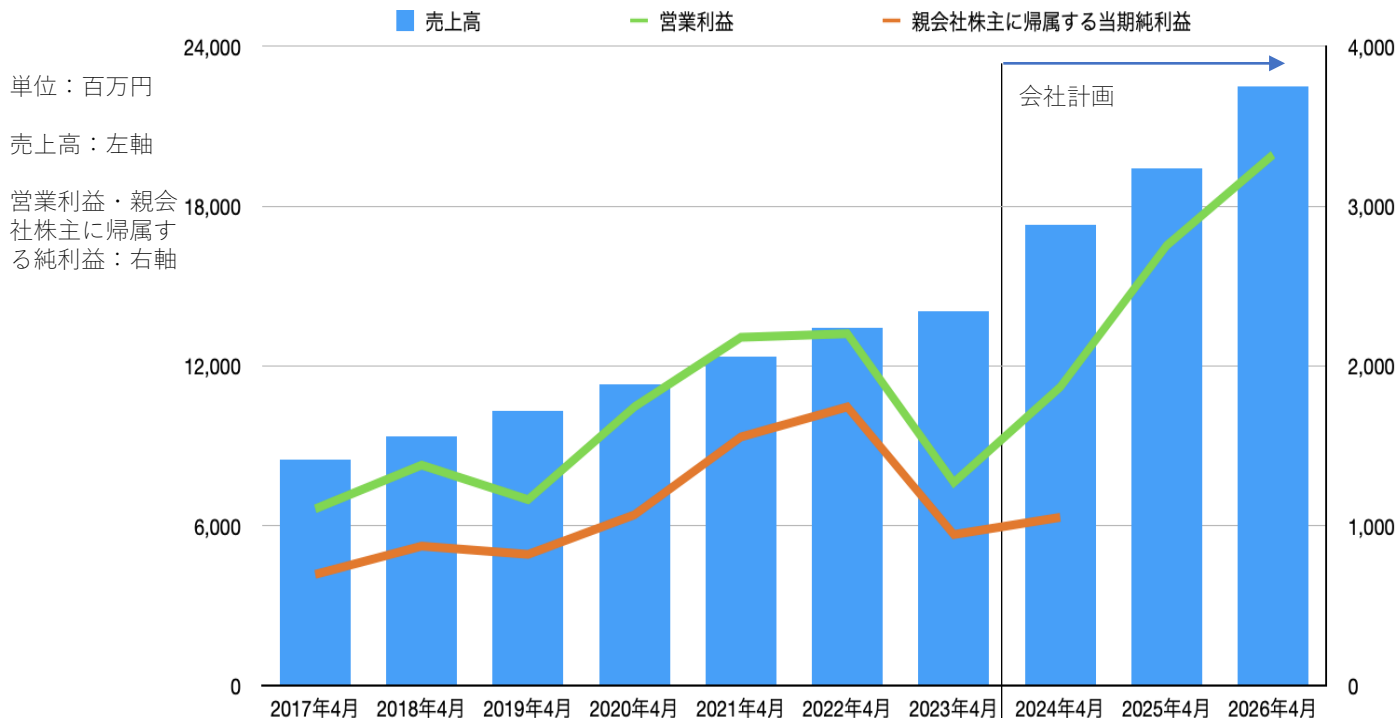
(百万円)

決算期	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月	2024年4月	2025年4月	2026年4月
連結・日本基準								会社予想	中期経営計画	中期経営計画
【損益計算書】										
売上高	8,502	9,377	10,303	11,325	12,364	13,413	14,038	16,813	19,408	22,515
営業利益	1,106	1,380	1,164	1,745	2,180	2,202	1,271	2,086	2,754	3,323
経常利益	1,048	1,267	1,179	1,757	2,149	2,330	1,400	2,069		
税金等調整前四半期純利益	1,010	1,259	1,179	1,582	2,144	2,463	1,396			
親会社株主に帰属する当期純利益	696	873	821	1,069	1,556	1,744	945	1,537		
【貸借対照表】										
資産合計	4,240	5,042	5,761	8,097	8,339	10,518	12,320			
負債合計	1,484	1,445	1,572	3,272	1,811	2,265	3,360			
純資産合計	2,756	3,597	4,189	4,824	6,528	8,253	8,961			
借入金合計	468	298	500	1,740	104	544	1,300			
【キャッシュ・フロー計算書】										
営業活動によるキャッシュフロー	576	1,246	651	1,934	1,941	1,186	695			
投資活動によるキャッシュフロー	-433	-674	-671	-1,020	-412	-886	-1,507			
財務活動によるキャッシュフロー	69	-230	-7	933	-1,736	298	263			
現金及び現金同等物の期末残高	1,324	1,695	1,660	3,453	3,355	4,026	3,536			
【経営効率】										
売上高経常利益率	12%	14%	11%	16%	17%	17%	10%	12%		
ROA		19%	15%	15%	19%	18%	8%			
ROE	30%	28%	22%	25%	28%	24%	11%			
【一株指標】 単位：円										
EPS	44	55	51	67	98	110	59	94		
BPS	170	216	254	297	405	513	557			
DPS	4.5	5.5	6.5	7.0	10.0	22.5	22.5	22.5		
【従業員数】										
連結従業員数	233	285	309	353	387	403	428			

出所：同社IR資料よりOmega Investment作成
四捨五入

業績推移

通期損益計算書主要項目推移

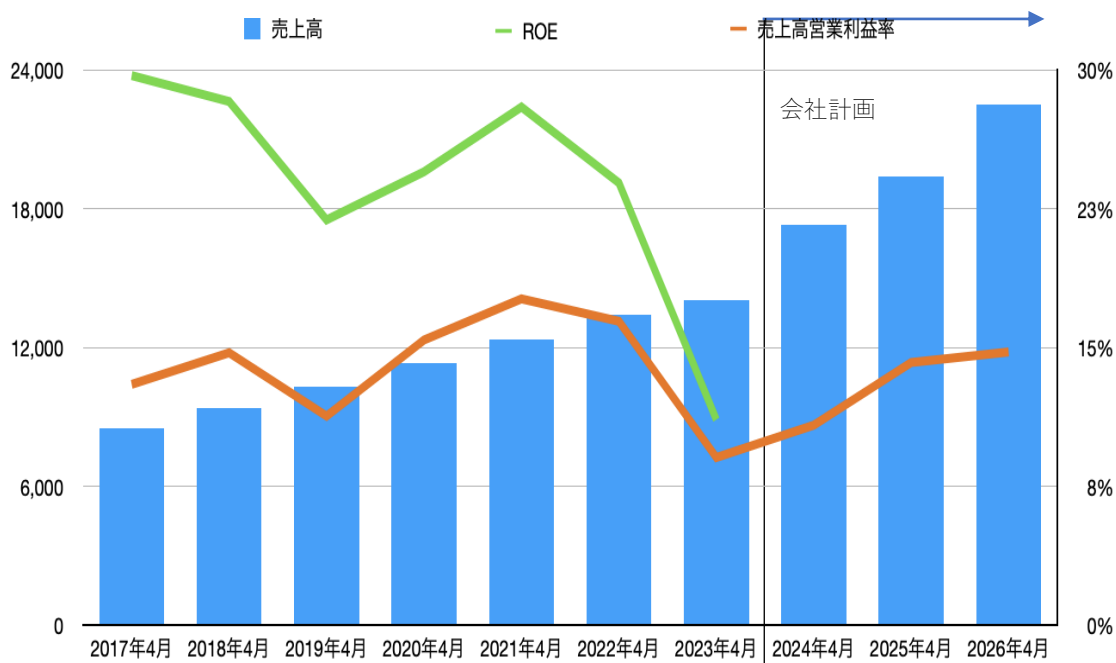


通期売上高・売上高経常利益率・ROE推移

単位：
左軸百万円
右軸%

売上高：左軸

売上高営業利益率・ROE：右軸



出所：同社IR資料よりOmega Investment作成



Hamee 株式会社

会社概要

会社	Hamee株式会社
創業	1997年4月
設立	1998年 5月 ※マクロウィル有限会社として
資本金	598,262千円(2023年4月30日現在)
取締役	代表取締役会長：樋口 敦士 代表取締役社長：水島 育大 取締役：鈴木 淳也
社外取締役/監査等委員	熊王 斉子、染原 友博、吉野 次郎
従業員数	連結428名(2023年4月30日現在)
ウェブサイト	https://hamee.co.jp
所在地	■本社 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-12-10 Square O2 ■東京営業所 〒136-0071 東京都江東区亀戸1-8-7 飯野ビル5階 ■大阪営業所 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-28 オーク堂島ビル6階A室
子会社	■NE株式会社 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1-6-4 勝俣組ビル6階 ■Hamee Global Inc. 3F, Gasan A1Tower, 205-27, Gasan digital 1-ro, Geumcheon-gu, Seoul, Republic of Korea 08503 ■Hamee US, Corp. 635 Hawaii Ave., Torrance CA 90503 ■Hamee Shanghai Tech & Trading Co., Ltd. J0293 Room 302 Building 6, Lane 599 Yungu Road, Malu Town, Jiading District, Shanghai, China



主要株主の状況

2023年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有株式数の割合 (%)
AOI 株式会社	神奈川県小田原市栄町二丁目12-15	5,312,000	33.36
樋口 敦士	神奈川県小田原市	2,533,400	15.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11-3	651,400	4.09
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUPPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U. S. A. (東京都千代田区丸の内二丁目7-1)	552,592	3.47
北村 和順	神奈川県小田原市	473,700	2.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8-12	406,900	2.56
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	P. O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U. S. A. (東京都港区港南二丁目15-1)	224,400	1.41
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NON TREATY CLIENTS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK (東京都中央区日本橋三丁目11-1)	215,492	1.35
水島 育大	神奈川県小田原市	145,400	0.91
鈴木 淳也	神奈川県茅ヶ崎市	135,400	0.85
計	—	10,650,684	66.88

株主構成

2023年4月30日現在

区分	株式の状況(1単元の株式数100株)								単元未満株式の状況(株)
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人等		個人その他	計	
					個人以外	個人			
株主数(人)	—	7	20	59	46	26	6,970	7,128	—
所有株式数(単元)	—	12,869	1,315	54,655	18,225	291	75,351	162,706	9,400
所有株式数の割合(%)	—	7.91	0.81	33.59	11.20	0.18	46.32	100.00	—

(注) 自己株式363,700株は、「個人その他」に3,637単元含まれております。



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントの Recherche によるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。